縁（ゆかり）Ⅲ NO.4	R7.5.1（木）	文責　坂本英明
学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】 重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間		

「自ら考え、判断し行動する」とはどんなこと？

学校だより第1号でお知らせしました通り、本校の学校教育目標は「自ら考え、判断し行動する子どもの育成」です。子どもたちには、5月1日（木）朝の全校集会で学校教育目標について具体的に話をしました。その一部を紹介します。

「自ら考え、判断し行動する」とは次のようなことです。

例えば、授業中では、①自分で席について、準備をする、②先生の質問に自分の考えを持つ（発表する、しないではない）、③問題の解き方を自分で見つけて解く。

例えば、学校生活では、①名札を自分で付ける、②さみしそうな子に声をかける、③欠席の子のプリントを机の中に入れる、④友達より先に「ごめんなさい」を言う。

例えば、家庭生活では、①自分で起きて歯を磨く、②勉強と自由時間をコントロールする。

簡単にできるものから、難しいものまであります。まずはできるものから実践し、できるものを一つ一つ増やしてほしいものです。

このように、学校教育目標には、先生や保護者などの大人や友達などから、事細かに指示をされて行動するのではなく、自分で気づき、考え、よりよい行動ができるようになってほしい、自立心をもった人になってほしい、という願いが込められています。

地震・火災避難訓練を行いました

4月30日（水）第2校時に訓練を実施しました。担任が、地震・火災の時の避難の仕方や「訓練といえども真剣に行う」などの事前指導をした後、運動場に避難しました。避難から全員集合するまでの時間は約5分でした。また、地震や火災はいつ発生するかわかりませんので、日頃からの備えが必要です。集合後、次のような話をしました。

2011（平成23）年に東日本大震災が発生しました。地震や大津波でたくさんの命が奪われました。そんな中、ある小学校は一人も命を落とさなかったそうです。その学校は、非常時に備えて「命を守る3つの行動」を子どもたちと先生たちが徹底して守っていたそうです。「命を守る3つの行動」とは、①廊下は静かに歩く、②集会は黙って並ぶ、③先生の話はしっかり聴く、です。本校でも取り組んでいきます。

また、この後、保護者引き渡しのための地区毎の集合がありますが、本校では「南区で震度5弱以上の地震が発生」したときには、あなたたちを保護者に引き渡します。おうちの方にもお知らせします。

日頃から自分の命を自分で守るよう心がけましょう

<黙って並べましたか？>

<奥にいる一年生もじっと座っています>

学校ホームページに、「緊急時児童引き渡しマニュアル」を掲載していますので、必ず目を通していただきますようお願いします。

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm